

しまだ せいじろう
島田 清次郎

明治32年(1899)生～昭和5年(1930)没
美川町生まれで、大正8年(1918)、20歳のときに刊行された「地上」が50万部を超えるベストセラーとなり、一躍有名になるも、傲慢な態度や奇行から文壇から疎まれ、最後は巣鴨の保養院でさびしく没した。「地上」の他に「若芽」「大望」「早春」「帝王者」「死を越ゆる」「我世に勝てり」「我世に敗れたり」「勝利を前にして」等の作品がある。

むらい たけお
村井 武生

明治37年(1904)生～昭和20年(1945)没
美川町に生れる。大正12年(1922)村井芳郎の名前で文芸雑誌「成長する魂」を発行。大正14年(1924)詩集「樹陰の椅子」を出版、室生犀星に序文を書いてもらうなど好評を得た。他に「アヤツリ人形」「着物」などの作品がある。